

【複数年度(1年目)】EV充電器の公道設置に関する社会実験(神奈川県横浜市)

1. 実験概要、留意すべき項目

- EV車の普及、ひいては道路交通の低炭素化の実現を目指すために、EV充電器を公道に設置し利便性や安全面での効果や課題を検証する。
- EV充電器の公道設置を社会実験として実証することで、道路占用(道路法)に関連した設置基準等の検討に結びつくこと。

2. 今年度の調査内容、調査結果

- EV充電器設置場所の選定
⇒横浜市內から青葉区の候補地を選定した
- 警察、道路管理者協議
⇒安全対策等の協議を実施、令和3年3月に完了予定



EV充電器設置予定場所(数字は、右の写真と対応)



①実証実験候補地



②実証実験候補地



③実証実験候補地



充電器(候補)

3. 次年度の社会実験に向けて

実験メニュー	実験内容
充電器利用者、周辺歩行者、および周辺交通への影響の確認、対策の検討	監視カメラを設置し、録画画像から事象の発生の有無を確認
利用者ニーズの調査	アンケート調査を実施して、今後の利用意向を確認 本格運用に向けた運用ルール、設置設備に関するニーズ調査
周辺歩行者等への影響確認	周辺歩行者、および自転車利用者への影響確認、対策の検討

4. 今後のスケジュール

- 令和3年4月: 事前周知
- 令和3年4~5月: 充電器設置工事
- 令和3年6月~令和4年3月: 現地実証実施
- 令和3年6月~令和4年1月: アンケート調査

5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
公道上の充電器は悪くはないが、充電している間の時間管理(充電している人がいつ帰ってくるのか分からないため)をどうするのが課題であり、検討が必要である。	・充電は30分で自動的に停止する。 ・交通規制(電気自動車充電のための車両に限り駐車可)をかけることを検討しており、充電完了後の駐車は交通違反となる。 ・実証期間中は防犯カメラを設置することで、交通違反を抑止する。
交通安全面や適正な横断配置等の留意点や課題を明らかにするため、EVユーザーだけではなく、歩道利用者や関係者へのアンケートを行ってほしい。	周辺歩行者及び周辺交通への影響の確認ならびに対策の検討を行うにあたり、歩道利用者や関係者へのアンケートの実施を追加する。
本実験の実施にあたり、EV充電施設の設置場所や車両を駐車させる際の交通規制の方法等、神奈川県警察本部及び所轄警察署と十分な調整を行うこと。	神奈川県警察本部交通規制課及び青葉警察署と協議、調整中であり、今年度(R3年度)内に完了する予定である。
本実験に伴うEV充電器の設置が道路使用許可の対象となることから、事前に所轄警察署と十分な調整を行うこと。	神奈川県警察本部交通規制課及び青葉警察署と協議、調整中であり、今年度(R3年度)内に完了する予定である。

6. 評価

- ・ 今年度中に事前協議が完了し、次年度の実験メニュー、実験内容、スケジュールの検討ができているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。